



百貨店（販売担当）	来客数の動き	・来客数は増加傾向にあるが、購買までにはつながっていない。明確に欲しいものが決まっておらず、必要に迫られなければ購入には到らない。価値感がある商品の動きは比較的堅調であるが、価格訴求品や旬を過ぎた商品への反応は弱い。また、客の購買格差が徐々に広がっていると感じられる。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・暑さという気候要因もあるが、来客数が少ない状態が続いている。
スーパー（店長）	単価の動き	・相場で価格が変動する商品以外の商品では、単価が非常に下がっている。
スーパー（店長）	単価の動き	・第3のビールなどの低単価商品の売上は伸びている。しかし客単価は前年同月比95%であり、改善の兆しは見られない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・お盆期間中の客単価や月末の売上を考えると、緩やかな下降局面に入ってきている。
スーパー（店員）	来客数の動き	・客の流れは悪く、商品の購入点数も少ない。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・販売量は若干上向いているように思えるが、単価が上がってこない。先行き不安が顕著であり、お金が消費に回っていない状況がうかがえる。
コンビニ（企画担当）	単価の動き	・高温のため、冷たい物がよく売れている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・記録的な猛暑にもかかわらず、来客数は増えていない。売上も伸びていない。
コンビニ（店長）	単価の動き	・連日の猛暑のなか、飲料、アイスクリーム類の売上が伸びている。しかし、単価は前年同月と比べて20円ほど低下しており、全体の売上はあまり増えていない。
衣料品専門店（経理担当）	販売量の動き	・1月からの7か月間で前年の実績を上回ったのは1か月のみであり、厳しい状態が続いている。
家電量販店（店員）	単価の動き	・販売量の動き、客の様子などすべての面で、活気がない。客単価も低下している。家電、自動車のエコポイント対象商品以外は、横ばいまたは下降傾向にある。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー減税と補助金の効果で、販売台数は好調が続いている。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・販売量の動きを見ると、8月は引き続き非常に良い。しかし、エコカー補助金の終了の関係で、9月以降、特に10、11月は厳しくなる。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・予想通りエコカー補助金の駆け込みがピークに達しているため、今月は3月の決算期並みの販売量となっている。また、来客数も多く、8月とは思えないほどの盛況ぶりである。ただし、補助金が予想よりも早く終了する見込みとなったため、月末になるほど来客数は減ってきている。
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・3か月前と同じく、あまり良くない状態が続いている。値引きなど販売条件の要求が厳しくなっている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金のおかげで駆け込み受注もあり、新車販売は8月前半には店の目標を達成しており、相変わらず好調が続いている。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持ち家の注文住宅、分譲マンションの動きは変わらない。公共工事は建築全般で減少している。民間設備投資が若干プラスであるため、全体的には変わらない。
その他専門店【雑貨】（店員）	来客数の動き	・セールなどで商品が安くなっている日には、来客数は増える。しかし、チラシを入れていない日は不調である。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・8月に入り、土日祝日の来客数は前年を上回っている。ただし、これは前年同月が大幅に落ち込んだことの反動であり、基調としては春以降横ばいの状態が続いている。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・暑い日が続いているが、雨の日が少ないため、来客数は増えている。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・宿泊客数はなんとか前年並みを確保できており、室料は良い。しかし、レストランでは低単価のため、売上は決して満足できるものではない。また、前々年以前の水準にはほど遠い。

	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宴会部門は、忘年会が苦戦している。レストランは、単価が低下している。宿泊は、自動車系の海外企業の宿泊がちらほら増えている。全体としては、横ばいが続いている。
	旅行代理店(経営者)	単価の動き	・先行き不安が続いていることが、現状にも影響している。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・今年は猛暑により、長期滞在の飛行機を使う旅行商品が売れている。しかし、近隣への旅行は販売不振である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月はお盆前までは比較的忙しかった。その後は停滞したが、26日以降はコンサートやお祭りがありやや盛り返している。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・悪いなりに安定してきており、下げ止まっている。
	通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・業務の効率化による経費削減等があり、厳しい状態が続いている。
	ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・徐々に来客数が減ってきているなか、一段と暑い日が続く、来客数は対予算目標ではそこそこのプラスながら、対前年では減少している。売上は、対前年同月、対予算共に大きく下回っている。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・客からレジャーなどの話題を聞くと、景気が良くなっていると感じる。しかし、店での売上は今一つである。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・毎年ならば8月は、売上が一番多い時期である。しかし今年は例年になく酷暑と円高による経済不安が重なり、人出は少なく、客単価も低く、売上は増えていない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・当社商品は、大型量販店では売上を維持しているが、鉄道駅構内の売店や地上店など小型店での売上は完全に落ち込んできている。個人消費は全体的に急速に落ち込んできているが、猛暑のため地上店が苦戦し、大型量販店はエアコンで涼しいため集客を増やすという状況になっている。ただし、大型量販店でも、来客数の割に売上は増えていない。
	一般小売店[高級精肉](企画担当)	販売量の動き	・円高、株安などで不況感があるため、売上は減少している。
	一般小売店[書店](経営者)	来客数の動き	・今月は暑くて、店内が涼しいため涼みに来る客は多いが、購入はしない。主要客である若者、男性客は相変わらず非常にシビアであり、お金を使わない。お盆前まではなんとか良かったが、お盆過ぎからは例年ならば月末にかけて売上が増える時期であるにもかかわらず、今年は減少している。
	一般小売店[生花](経営者)	お客様の様子	・お見舞、誕生日、葬儀用の御供花などで最低限の付き合いはするが、それ以外は控えるという風潮が出てきている。そのため、単価は低下している。依然として財布のひもは固い。
	一般小売店[贈答品](経営者)	お客様の様子	・中元の時期が終わった後は、例年ならば秋口の土産や結婚の内祝いの打ち合わせがあり、休みを利用して相談に来店する客が増える。しかし今年は相談件数が減っており、今後もマイナス傾向が予想される。8月の売上も少ない。
	一般小売店[食品](経営者)	来客数の動き	・連日の猛暑で、夏休み中にもかかわらず来客数はかなり減少している。客の購入も、全体的に少なくなっている。夏向きの商品が少ないこともあり、この状態では8月としては開業以来初めて前年同月を下回る結果になると思われ、厳しい状況である。
	一般小売店[自然食品](経営者)	お客様の様子	・猛暑のため、食品の動きは悪い。簡単に食事を済ませようという動きが顕著である。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・土日でも、来客数は以前と比べて多いとは感じられない。帰省客や家族での来店も多いが、買物はほとんどしない。食堂街、喫茶店、土産用の食品店が混雑しているだけで、紳士フロアは来客数が減ってきており土日でも平日昼間のような状態である。

百貨店（販売担当）	お客様の様子	・売場全体では、対予算、対前年同月を共に上回る見込みであるが、平場のブランドは不振が続いている。ショップブランドのセールスの延長や催事メーカーの長期投入等で売上をカバーしたような状況である。猛暑が続いているためか、春夏物のセール品があれば購入する客が多く、秋冬物の新作の展開は売上の底上げにつながっていない。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・暑過ぎるためか、車で行楽地に出掛けているためか、例年に比べてお盆のにぎわいはとても少ない。厳しくなってきた。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・野菜等が値上がりしているにもかかわらず、店全体の売上は低迷している。レストランなどでも低価格指向になっており、各店の売上は前年同月比マイナスになっている。毎日各店を回っているが、幹線道路沿いのガソリンスタンドや飲食店は閉店に追い込まれており、空き店舗が増えている。中小企業の本数は確実に減ってきている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・地元客のなかには自動車、オートバイの下請業者の従業員も多いが、円高を不安がっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・1人当たりの購買金額は前年並みに落ち着いてきているが、来客数は依然として減少し続けている。周辺の小売店各社との価格競争も激しい。当店でも、他店と価格を合わせる品目を決めて毎日調査しており、価格を調整している。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・競合店の出店が続く、各店が価格競争に走ってしまい、数字は上向きになっていない。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・エコカー補助金に合わせたキャンペーンが終了すると共に、消費は低迷している。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・確実に猛暑の影響で、弁当などの食品が売れていない。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・経営するリゾートホテルでは、3か月前と比べて予約スピードが鈍化している。特に夕食、昼食の地元利用が伸び悩んでおり、景気は下向きに向かっている。
都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・稼働率は、波はあるものの徐々に回復傾向にある。しかし、客単価に関しては、まだ値崩れが続いている。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・地元空港の路線縮小や羽田の国際線開設を控えて、海外渡航は成田、羽田に移行し始めている。また、製造業は生産設備を海外へ移管せざるを得ない状況に追い込まれており、廃業も増えつつある。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・例年夏休みの終わりには、駆け込みで宿泊旅行等の申込があるのだが、今年は少ない。酷暑の影響か、財布のひもが固いためか、売上、申込数共に良くない。
タクシー運転手	来客数の動き	・猛暑のためか外出が控えられており、街中を歩いている人は少ない。乗客も減ってきている。また、お盆休み明けは、出費が控えられている。
タクシー運転手	販売量の動き	・夜の繁華街では、人出が少ない。以前は終電前に最寄り駅までの短距離でも利用があったが、今は駅までの客も減っており、街中閑散としている。
通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・提供エリアの拡大や新サービスの提供開始で巻き返しを図っているが、繁忙期と比べると販売量は少ない。
通信会社（営業担当）	それ以外	・家電関連はエコポイント制度が12月末まで延長されたが、その他では関連業界でも元気がない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・3か月前までは、例年と同様の来場者数が維持されていた。しかし、それ以降は15%ほどのマイナス基調にある。レジャーへの消費は抑制されており、下向きである。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動き、競争相手の動き共に良くない。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・お盆があるため本来は忙しい時期であるが、今年は来客数が伸びていない。
美容室（経営者）	競争相手の様子	・美容室が増えているため、競争が厳しい。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・猛暑の影響か、福祉用具のレンタル出荷は低水準である。解約物件も多く感じられる。

		設計事務所（職員）	お客様の様子	・打ち合わせに来社する営業担当者との会話では、仕事がないと話す人が多い。
		住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・団地を分譲中であるが、来客はあっても、先行きに不安があるため契約に至る客はほとんどいない。
悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・周囲を見ると、エコカー減税や猛暑などにより、消費は自動車、家電、レジャーに向かっている様子である。今月の売上は壊滅的であり、創業以来最低の成績に終わっている。今後どうするべきか、早急に対応しなくてはならない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少していることに加えて客単価も低く、売上は伸びていない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・景気の先行き不安と連日の猛暑により、来客数は極端に少ない。売上も激減している。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・今月は特に良くない。同業者からも良くないと話を聞く。景気は冷え切っている。
		その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・展示会を開催しても来客数は少なく、常連客も無理をして購入はしない傾向にある。先行きが不透明であり、安心して買物ができないとの声もある。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・猛暑の影響があるかもしれないが、客はなかなか夜に外出しなくなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・暑さのためか、来客数が減少している。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・暑い髪が気になるのか、来客数は少し増えている。しかし客との会話では、景気の良い話は聞かれない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・この暑さのため年配客に足を運んでもらえず、先月、今月と来客数は減少している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告を出しても、反応はほとんどない。来店しても購買意欲は小さい。
	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・下請業者からは、仕事がなく困っているとの声が、以前と比べても増えてきている。	
企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が前年同月比22.8%増加していることに加えて、経常利益も13.9%増加している。久しぶりに増収増益となり、景気改善の糸口が見え始めている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先のパチンコ業界では、上半期が終わる前の設備投資が増えており、出荷量は増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・アジア各国間の貨物量が、堅調に増加している。
やや良くなっている		化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて、受注量は増加している。アジア、特に中国の景気回復がけん引しており、景気は上向きである。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・全体として受注量は増えている。ただし、一時期のハイブリッドカー用の電池向けのように、大幅な伸びを見込める製品はない。太陽電池関係も堅調ではあるが、以前のような勢いはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は、微増傾向にある。ただし、同じ業界、分野でも、ばらつきが目立ち始めている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・4月以降、売上は右肩上がりでも推移している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年8月は低調になるなか、今年はそれなりの売上があり、改善の兆しがある。ただし、昨今の円高、株安は予想以上であり、今後の懸念材料である。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・大手自動車メーカー関連企業では、一時期と比べて、先行きは分からないながらも少しずつ良くなっているとの話をよく聞く。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・猛暑の影響から、夏物衣料や飲料向けプラスチックケースの売上が好調になっている。
		不動産業（開発担当）	競争相手の様子	・事業用地取得に積極的な企業が増えている。
		企業広告制作業（経営者）	それ以外	・新卒の就職状況は、前年よりも厳しい。しかし、景気は回復し始めている。企業ではリストラが進み、企業体質は強化されている。
	変わらない		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・全世界で取引先企業の設備投資意欲は復活しており、引き合いも多い。ただし、価格はリーマンショック以前の水準まで戻っておらず、相変わらず厳しい値引き合戦が繰り広げられている。

一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円高や中国の技術力が高くなってきている影響もあり、海外向け、特に中国、東南アジア向けの受注量は、期待通りには伸びていない。	
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・注文状況は、前月と変わらない。	
建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・仕事の請負は、これまで月に1回だったのが、2か月に1回になってきている。	
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物量の増加が止まり、横ばいになってきている。実需は増えているが、先行投資の物量が減っており、結果的に変化はみられない。	
輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・お盆以降の荷動きは、前年同期と比べて低調である。また、競争が激化しており、荷主の値下げ要請によって運賃単価も下落している。	
輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷物の取扱量は増えているが、価格の下落が大きい。	
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑が続いたため飲料関係の荷動きは激しいが、特需である。荷物の動きはほぼ一定であり、3か月前と変わらない。	
通信業（営業担当）	取引先の様子	・景気の不透明感は、相変わらず続いている。客は投資に対して慎重である。	
金融業（企画担当）	取引先の様子	・自動車関連を中心に受注の回復が見られ、利益もそれなりに増えてきている。しかし、利益が増えている要因が売上増という企業はまだ少なく、人件費等の固定費削減が主な要因である企業が多い。	
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・価格競争は、相変わらず厳しい。今までどおりの価格設定では、利益はほとんど出ない状態である。	
新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告の出稿量は前月に底を打ったと思ったが、今月は前年同月比5%減となっており、やはり一進一退が続いている。	
行政書士	受注価格や販売	・顧問先企業の受注量は、相変わらず少ない。	
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・顧問先企業の様子をみると、製造業では秋ごろまでの仕事はある。建材卸業でも、売上を少し伸ばしている企業がある。しかし全体的には、回復しているという感じはしない。今月の売上増加は偶然という印象である。	
その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・多少の変動はあっても、全体的には低価格で安定している。閉塞感で一杯である。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・円高が、非常に厳しい。今はエコカー補助金の駆け込みで生産は多いが、終了後は大変なことになる。	
やや悪くなっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、広範囲で減少してきている。販売先の仕事量が減少しているためか、1回当たりの出荷量が減少している。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円高の影響が、じわりじわりと浸透し始めている。受注量、販売量共に減少している。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・飲食店や美容業界では、猛暑と先行き不透明による影響で、売上は減少傾向にある。そのため、広告出稿を控える動きが出てきている。
	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・取引先からは、売値の値下げ要求が止まらない。せっかくそれなりに仕事が出てきたのに、利益につながるかどうか不安である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・猛暑により季節商材等の売行きは順調のようであるが、欧米の景気の先行き不透明感や円高の影響により、輸出関連の企業業績は思わしくない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、6、7月と比べて約2割減少している。円高と原材料価格の高騰が原因と思われる。
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上の3か月前比は、前年同月がプラス0.7%、今月はマイナス4.5%であり、差し引き5.2%も悪くなっている。前月から同ような傾向が続いている。ただし、大手自動車メーカーへ納入する仕事は増えてきており、輸送車の増便や特別車等の依頼も増えている。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・事務所の賃貸契約の成約は、まだまだ不調である。

		経営コンサルタント	取引先の様子	・雇用環境が悪いため、住宅を購入する客は減ってきている。新築住宅の売上が良くないため、値段を下げてはならない。地価も下がる状況が続いている。賃貸住宅の家賃も値下がり続けている。所得が不安定ななか、新築アパートでは空室が多く、古いアパートにも空きがある。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小小売店ではこれまで、訪問、サービスマンテナンス、保証等によって大型店の隙間を重視した営業を続けてきたが、最近では隙間さえも大型店から攻められている。中小小売店の営業は、悪化に歯止めが掛からない状況にある。また、サービス業でも、価格の自由化が進むなか、本人確認、個人情報の守秘などの手間が以前より増加しており、収入減、経費増となっている。
悪くなっている		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合いが減少している。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・受注のキャンセルがあり、売上の未回収も増加している。
		公認会計士	それ以外	・顧問先企業では、借入金の元金据置、廃業の検討、給与及び賞与カットが増加している。
		その他サービス業【ソフト開発】（社員）	取引先の様子	・ここ数年間継続してきたコンサルティング業務について、支払いを半額にすることを求められている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・顧客企業では研究開発案件が継続して発生しており、技術者派遣への需要も増えている。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・正社員採用の求人が増えてきている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が持ち直している。新規求人数は今年4～6月期に減少していたが、7月から増加に転じ、今年1～3月期の水準にまで回復している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は大幅に増加しており、求職者数は減少している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数はかなり減ってきており、求人倍率は若干高くなってきている。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ここ1年近く、派遣需要はほとんどない。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・求人数は、前年同月比130%と増加傾向にある。しかし、コンプライアンスの観点から、派遣先企業では派遣社員から契約社員、正社員へと雇用形態を変更する動きを続けている。人材派遣会社の稼働者数は回復しておらず、依然として厳しい状況が続いている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・エコカー補助金の終了が近づくにつれて、駆け込み需要を期待しているが、現状ではあまり影響はない。
		新聞社【求人広告】（営業担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告数は、底のまま推移している。
		新聞社【求人広告】（営業担当）	求人数の動き	・中途採用の一般求人数は、前年同期と比べれば若干改善している。しかし、前々年と比べると5割程度の状態が続いている。特に悪いのは製造業であり、前年比でみると微増ながら、前々年と比べれば3割程度と、復活には程遠い状態が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比はマイナスに転じており、勢いはなくなりつつある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は連続して前年同月を上回っているものの、増加を実感するまでには至っていない。3年前と比較すると、まだ半分ほどである。
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・今月前半は、イベント、同窓会などで求人数は前年同月比で2割ほど増加している。しかし、月後半は前年よりも3割ほど減少している。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・求人数は、前年を下回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の新規求人数の前年同月比は、大幅なマイナスである。前月比でみると、それ以上に減少している。ここ数か月間、新規求人数は緩やかながら上向きであったが、その動きは止まった可能性がある。来春卒業者の新卒求人の動きも悪い。

	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・エコカー補助金の終了が近づき、製造業では先行き不安が広がっている。そのため、採用見直しのお話をよく聞くようになっている。
悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・労働者派遣法の改正に伴う動きで、人材派遣活用に消極的な企業が出始めている。また一部企業では、派遣社員から直接雇用へと切り替える動きがあるものの、期間従業員など一定期間の直接雇用形態であることが多い。また、待遇面でも、派遣社員時と同等かそれ以下となるケースも多い。